

平成16年（行ウ）第20号 ハッ場ダム費用支出差止等請求住民訴訟請求事件

原告 柏村 忠志 外20名

被告 茨城県知事 外1名

証拠説明書

(甲B第72～76)

2008年7月28日

水戸地方裁判所 民事第2部 御 中

原告ら訴訟代理人

弁護士 谷 萩 陽 一

外

号証	標 目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨
B72 の1	高崎の地図 写	平成10年 12月1日 発行	国土地理院	「利根川上流域における昭和22年9月洪水（カスリーン台風）の実態と解析」（利根川ダム総合管理事務所昭和45年4月）においては、八斗島地点で毎秒26900トンの出水があるとの前提のもとに、上流部の氾濫想定がされているところ、その氾濫想定図を、市販されている5万分の1の地図に図示したもの。氾濫するはずのない場所が氾濫したことになっている等、大きな問題があること。
B72 の2	前橋の地図 写	平成10年 3月1日 発行	同 上	同上
B72 の3	沼田の地図 写	平成15年 3月1日 発行	同 上	同上
B72 の4	富岡の地図 写	平成7年 4月1日 発行	同 上	同上
B72 の5	榛名山の地図 写	平成10年 3月1日 発行	同 上	同上

B73	増補 洪水と治水の 河川史 抜粋	写	2007年 5月10日	大熊孝	ダムによる治水には限界があること。 越流しても破堤しないように堤防を強化すべきであること。 等
B74	利根川における治水 の変遷と水害に関する 実証的調査研究 (下)	写	昭和48年 12月	同上	【書証の説明】 作成者の東京大学大学院における 博士論文である「利根川における治水 の変遷と水害に関する実証的調査研究」 の表紙及び目次 (甲B58の原本)
B75	カスリーン台風による 群馬県内の被害の まとめ	写	2008年 7月24日	嶋津暉之	カスリーン台風による被害を集計した もの
B76	ハッ場ダムの計画最大 流入量 3,900m ³ / 秒の検討	写	同上	同上	ハッ場ダムの洪水調節計画では最大 で 3,900m ³ /秒の洪水がダムに流入し、 そのうち、2,400m ³ /秒を調節し、 1,500m ³ /秒を放流することになって いるところ、この 3,900m ³ /秒は 実際の洪水流量が比べてきわめて過 大な値であること